

令和4年度シラバス

言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
言語発達障害Ⅱ（障害とその指導法）		講義	西田 和子・平口 昌広	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
発達障害（自閉スペクトラム症・知的障害・特異的言語発達障害・学習障害・注意欠如・多動性障害）について定義を知り、各々の障害特性や言語発達を理解する。また各障害の症例を通し、基礎的な臨床（評価・訓練）について学ぶ。				
授業の到達目標				
発達障害の定義や特性を説明できる。 障害に特性に応じた評価や訓練を考えることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	自閉スペクトラム症（1）		（西田）	
2	自閉スペクトラム症（2）		（西田）	
3	自閉スペクトラム症（3）		（西田）	
4	自閉スペクトラム症（4）		（西田）	
5	注意欠如・多動性障害（1）		（西田）	
6	注意欠如・多動性障害（2）		（西田）	
7	学習障害（1）		（西田）	
8	学習障害（2）		（西田）	
9	特異的言語発達障害		（平口）	
10	発達性協調運動障害（1）		（平口）	
11	発達性協調運動障害（2）（感覚統合）		（平口）	
12	指導・訓練（1）言語訓練		（平口）	
13	指導・訓練（2）技法 指導・訓練		（平口）	
14	指導・訓練（3）ソーシャルスキルの指導		（平口）	
15	保護者への対応		（平口）	
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	発達障害の定義や特性を理解し、評価・訓練について考え、述べることを評価基準とする。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
ことばの障害入門	西村辨作編	大修館書店		
ことばの障害の評価と指導	大石敬子編	大修館書店		
標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版	玉井ふみ・深浦順一	医学書院		
言語聴覚士のための言語発達障害学 第2版	石井宏代・石坂郁代編	医歯薬出版株式会社		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				